

新潟市中央区 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査 結果報告書

あなたは、もしものことを考えたことがありますか？
人はいつ命に関わる大きな病気やけがをするか分かりません。
もしもの時に受けたい医療やケアについて、
元気な時から、家族や大切な人と思いを共有しておくことは大切です。

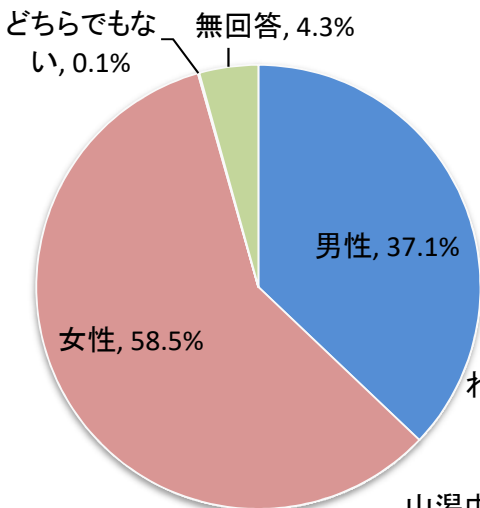


1 調査概要

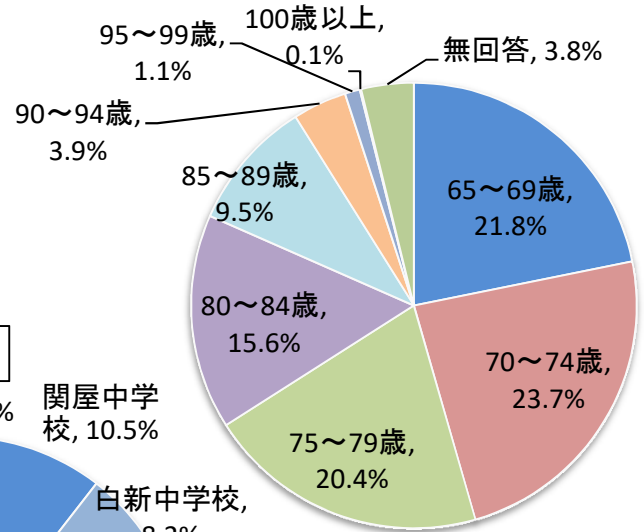
- (1) 調査の目的 人生の最終段階における医療・ケアに関しての中央区民の意識や要望などの把握
- (2) 調査対象数 新潟市中央区に住民登録している満65歳以上の男女2,000人(無作為抽出)
- (3) 調査方法 郵送方式
- (4) 調査期間 令和元年7月5日(金)～7月24日(水)
- (5) 回収結果 有効回収数=1,016件、有効回収率=50.8%
- (6) 比較調査 「人生の最終段階における医療に関する意識調査」 厚生労働省 平成29年12月実施
※調査対象年齢20歳以上

2 回答者の構成

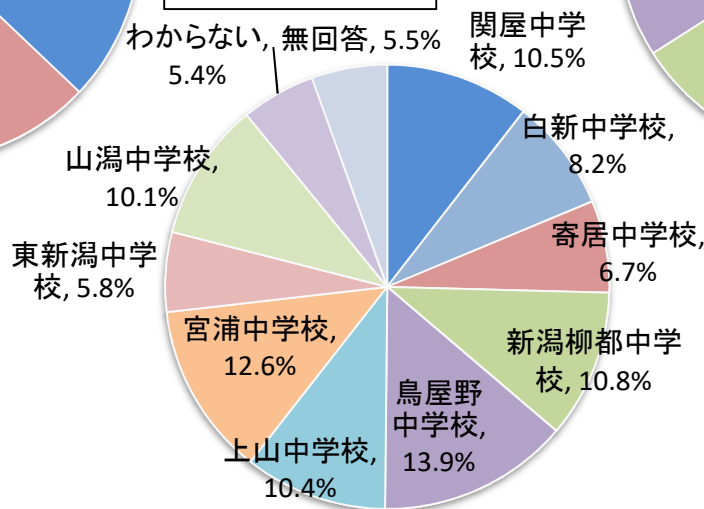
(1) 性別



(2) 年齢層



(3) 居住中学校区



(4) 在所状況
(生まれ育ったところか)

はい	21.4%
いいえ	73.6%
無回答	5.0%

(5) 世帯構成

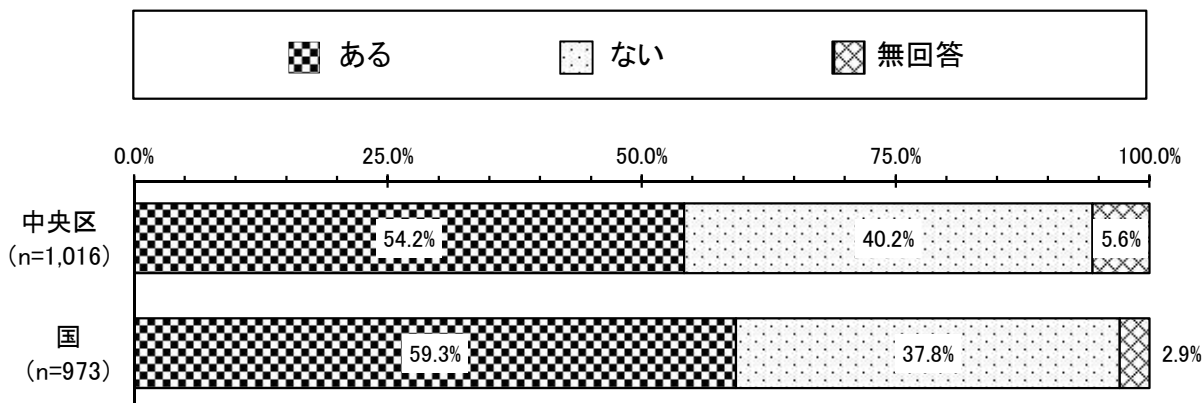
ひとり暮らし	20.1%
配偶者と二人暮らし	41.7%
配偶者以外の家族と同居	31.4%
家族以外と同居	1.1%
無回答	5.7%

(6) 医療・介護サービス利用状況

何も利用していない	44.4%
定期的に通院している	44.9%
在宅で介護保険サービスを利用している	6.6%
入院中	0.5%
入所中	2.0%
無回答	4.6%

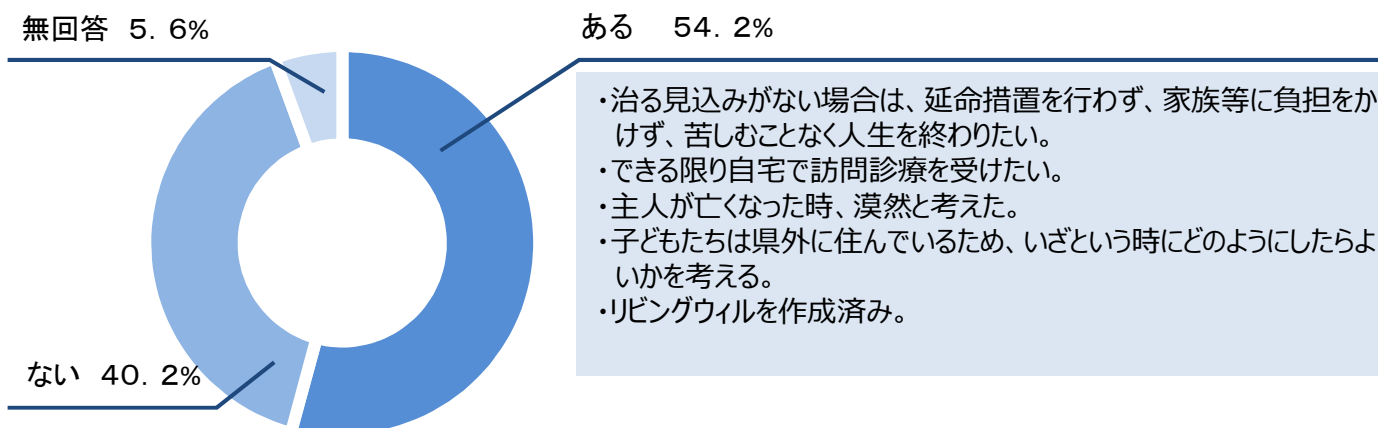
3 調査結果

問1. あなたは人生の最終段階における医療・ケアについてこれまで考えたことはありますか。

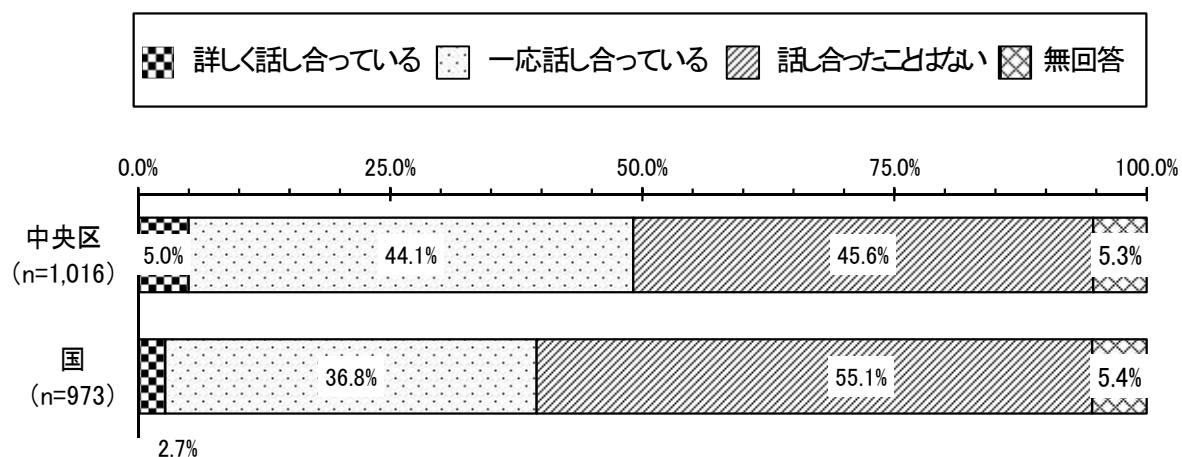


過半数は人生の最終段階における医療・ケアについて考えたことがあるが、国の意識調査と比較すると、中央区の方が5ポイント程低くなっている。

問2. 問1で「1. ある」とお答えした方にお聞きします。どのようなことを考えましたか。(自由記載抜粋)

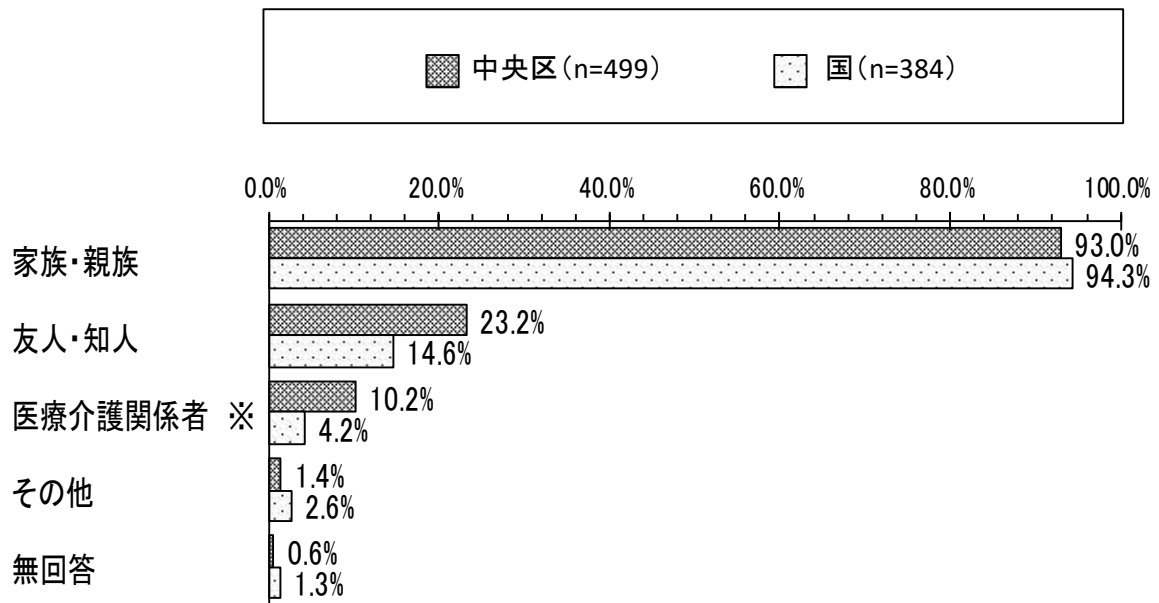


問3. あなたは人生の最終段階における医療・ケアについてご家族等や医療介護関係者とどれくらい話し合ったことがありますか。



国と比較し中央区の方が、『詳しく話し合っている』の割合が2ポイント程度、『一応話し合っている』が7ポイント程度高くなっている。

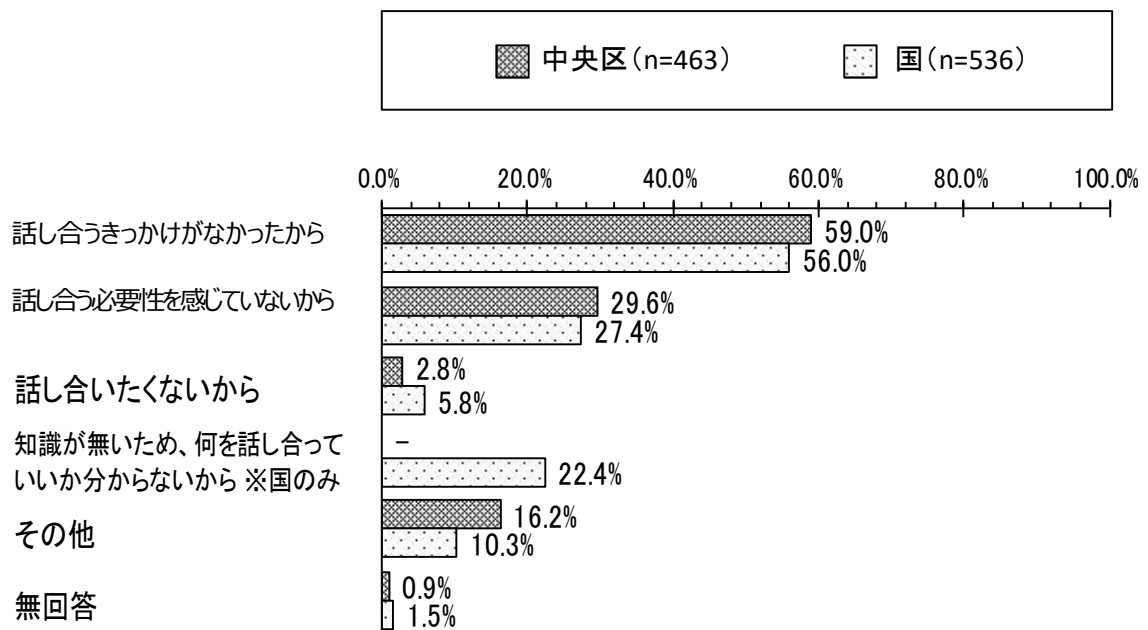
問4. 問3で「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応話し合っている」とお答えした方にお聞きします。どなたと話し合いましたか。（該当するものすべてに○）



※国の結果と比較するため、「医療介護関係者」(国の項目名)については、中央区結果の「医療関係者」と「介護関係者」の値を合算しています。

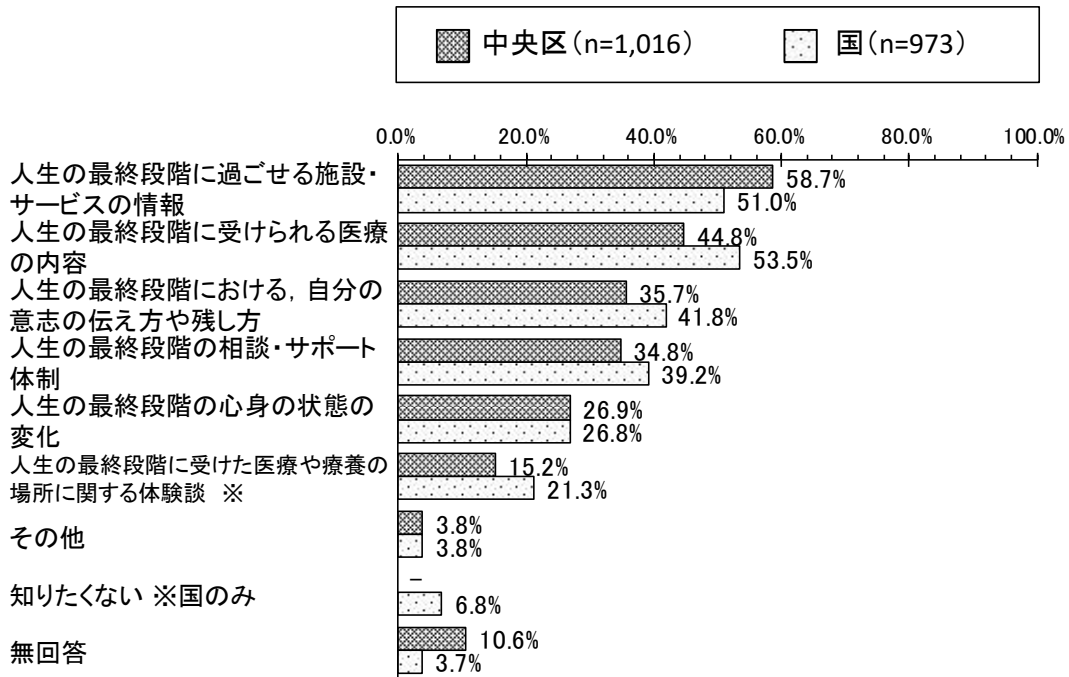
大多数は『家族・親族』と話し合っている。また、国の意識調査と比較し、『友人・知人』『医療介護関係者』がかなり高くなっている。

問5. 問3で「3. 話し合ったことはない」と回答した方におたずねします。これまで話し合ったことがない理由は、何ですか。（該当するものすべてに○）



過半数が『話し合うきっかけがなかったから』と回答している。一方、『話し合いたくないから』と回答した人はほとんどいなかった。

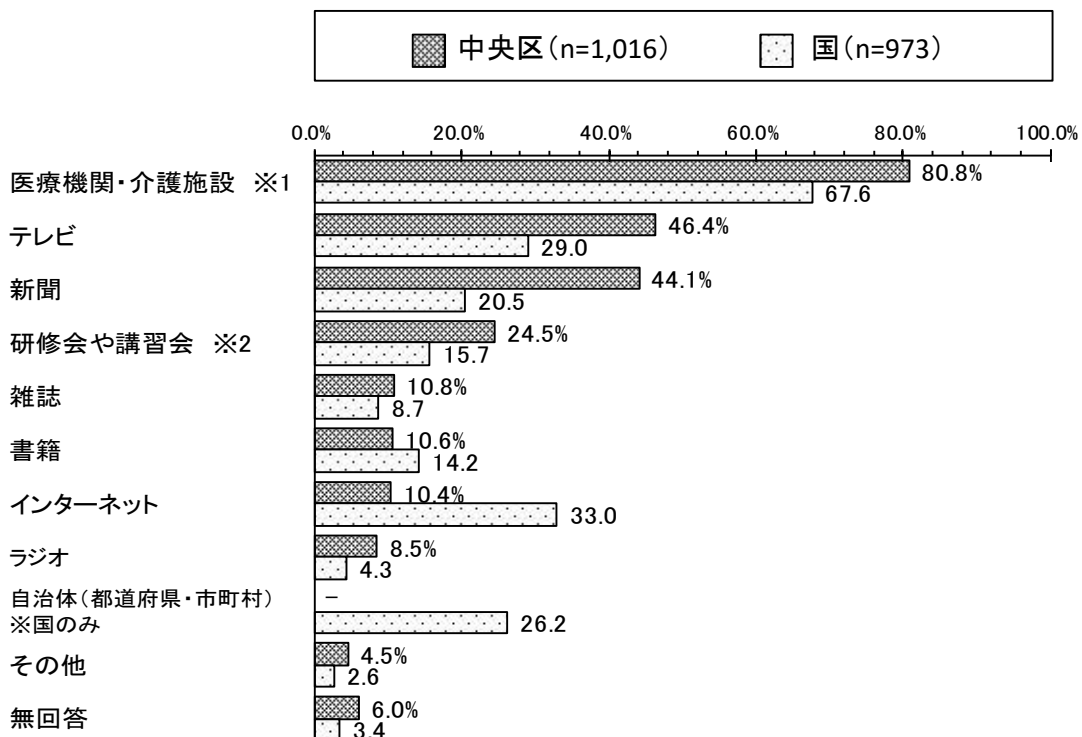
問6. あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。（該当するものすべてに○）



※「人生の最終段階に受けた医療や療養の場所に関する体験談」(国の項目名)については、中央区結果の「人生の最終段階に受けた医療やケアの場所や看取りをした家族等に関する体験談」と比較しています。

国が『人生の最終段階に受けられる医療の内容』が最も高いのに対して、中央区は『人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報』が最も高く、国と比較しても8ポイント程度高い。

問7. あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。（該当するものすべてに○）

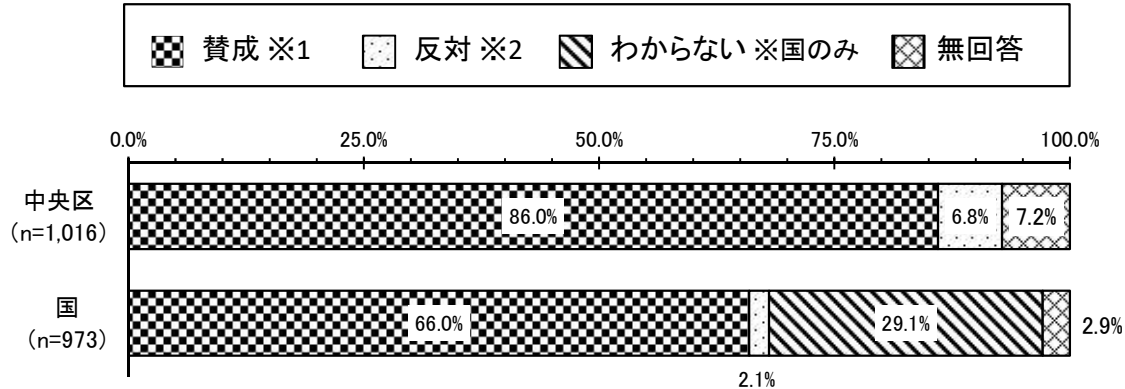


※1 国の結果と比較するため、「医療機関・介護施設」(国の項目名)については、中央区結果の「医療機関」と「介護保険サービス提供者」の値を合算しています。

※2 国の結果と比較するため、「研修会や講習会」(国の項目名)については、中央区結果の「研修会」と「講習会」の値を合算しています。

中央区も国も『医療機関・介護施設』が最も高かった。また、国と比較して10ポイント以上高く、8割以上の方が選んだ。一方、国で2番目に高かった『インターネット』は20ポイント以上低かった。

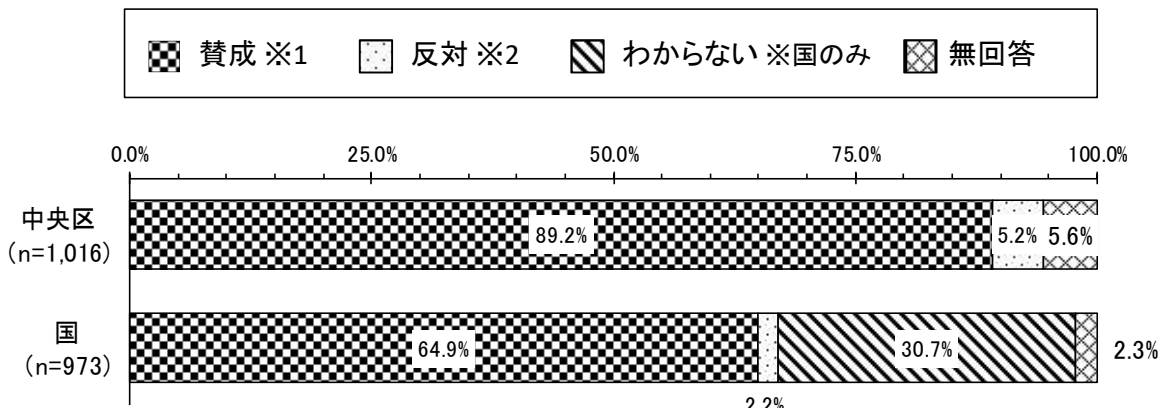
問8. あなたは自分が意思表示ができなくなったときに備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。



※1 国の結果と比較するため、「賛成」(国の項目名)については、中央区結果の「賛成」と「どちらかといえば賛成」の値を合算しています。
 ※2 国の結果と比較するため、「反対」(国の項目名)については、中央区結果の「反対」と「どちらかといえば反対」の値を合算しています。

8割以上の方が賛成で、国と比較しても20ポイント高かった。

問9. 自らが望む人生最終段階における医療・ケアについて、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについてあなたはどう思いますか。



※1 国の結果と比較するため、「賛成」(国の項目名)については、中央区結果の「賛成」と「どちらかといえば賛成」の値を合算しています。
 ※2 国の結果と比較するため、「反対」(国の項目名)については、中央区結果の「反対」と「どちらかといえば反対」の値を合算しています。

9割近くの方が賛成で、国と比較しても20ポイント以上高かった。

問10. 問9のような話し合いを進めることについて、中央区で普及していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。(自由記載抜粋)

- 人材育成
 - ・話し合いに応じることができるような人材の育成。
 - ・話をする専門職を増やし1人暮らしの人をまわる。
- 制度設計
 - ・自分の意思などをケアマネージャーさんを通して「記入する」「保管する等の制度」を整える。
 - ・人間ドックなどで、関係者と対話して進めるように(医療機関含む)制度をつかって欲しいです。
- 講演会・研修会
 - ・医療介護関係の方、最終患者を看取った方の体験談などの講演会を行う。
 - ・老人ホーム、介護ホーム、地域みんなの茶の間の会にて研修会をお願いします。
- 話し合いの場の整備
 - ・地域ごとに人生最終段階における医療ケアについて真剣に話し合う環境を作って活動していけたらいいと思います。
 - ・主治医の先生と細かい部分まで話し合っていきたい。
- その他
 - ・エンディングノートを市役所に置いてほしいです。
 - ・定期的に市報に載せていただきたい。

このアンケートを書いてみてどう思われたか、該当するものに○をお願いします。

その他 13.7%

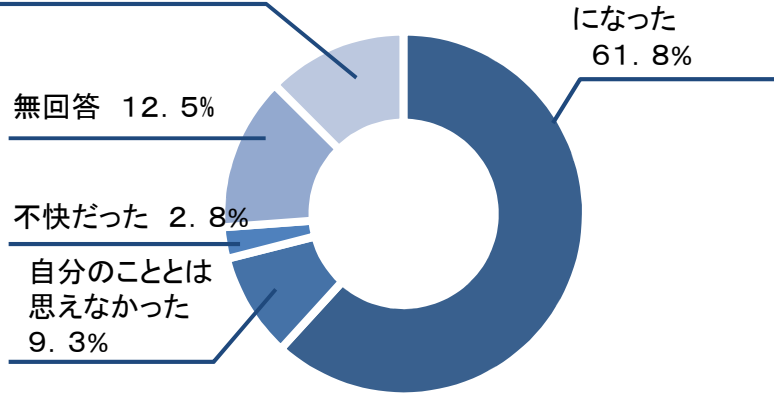
- ・知人、友人と調査票を見ながら話し合った。
- ・頭の中にいつもこの不安がありますので良い機会だと思います。
- ・大病をしきょうと生活を変え努力しているときにこのアンケートは不快だった。
- ・調査で終わらず、アンケート回答者に結果を知らせてほしい。
- ・言葉や考えをまとめ、改めて深く自分の事を考えるよい機会になりました。
- ・母の亡くなり方を思い出し辛かった。

無回答 12.5%

不快だった 2.8%

自分のこととは
思えなかった
9.3%

考えるきっかけ
になった
61.8%



6割以上の方が『考えるきっかけとなった』と答えた。一方で、不快だったとの回答もあった。

4 調査結果のまとめ

- ・『意思表示の書面を作成しておくことについての賛成』『人生最終段階における医療・ケアに関する話し合いへの賛成』は国の調査と比較して特に高く、中央区の特徴といえる。
- ・『きっかけがなかったから話し合ったことがない』と答えた人が6割近くいたことと、このアンケートを記入したことで『考えるきっかけになった』と答えた人が6割を超えたことから、今後の様々な機会を通して、『きっかけ』を作ることが必要であることが分かった。

もしものときのために
考えてみませんか？
話し合ってみませんか？
今のこと・将来のこと
自分のこと・大切な人のこと



中央区ヘモグロビンエーワンシー普及犬
エワン



中央区健康づくりサポーター
なか ちかこ
中 央子

【作成】新潟市中央区健康福祉課

〒951-8553 新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 3階
電話025-223-7252 FAX025-223-7151

令和元年9月